

* 2025 年 11 月改訂（第 2 版）
2022 年 10 月改訂（第 1 版）

貯法：室温保存
有効期間：5 年

漢方製剤

S-33

日本標準商品分類番号
875200

承認番号	16100AMZ03629000
販売開始	1986 年 11 月

三和五苓散料エキス細粒

3. 組成・性状

3.1 組成

販売名	三和五苓散料エキス細粒
有効成分	本品 1 日量（7.5 g）中、下記の日局五苓散エキス 3.8 g を含有する。 日局 タクシャ 6.0 g 日局 ビャクジュツ 4.5 g 日局 チョレイ 4.5 g 日局 ケイヒ 3.0 g 日局 ブクリョウ 4.5 g
添加剤	乳糖水和物、トウモロコシデンプン、結晶セルロース、部分アルファー化デンプン、軽質無水ケイ酸

3.2 製剤の性状

剤形	細粒剤
色	褐色
におい	特異な芳香
味	苦い
識別コード	S-33

4. 効能又は効果

口渇、めまい、頭痛、浮腫などのあるものの次の諸症
急性胃腸カタル、はきけ、ネフローゼ

6. 用法及び用量

通常、成人 1 日 7.5 g を 3 回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

8. 重要な基本的注意

- 8.1 本剤の使用にあたっては、患者の証（体質・症状）を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。
- 8.2 他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。

9. 特定の背景を有する患者に関する注意

9.5 妊婦

妊婦又は妊娠している可能性のある女性には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。

9.6 授乳婦

治療上の有益性及び母乳栄養の有益性を考慮し、授乳の継続又は中止を検討すること。

9.7 小児等

小児等を対象とした臨床試験は実施していない。

9.8 高齢者

減量するなど注意すること。一般に生理機能が低下している。

11. 副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

11.2 その他の副作用

	頻度不明
過 敏 症	発疹、発赤、瘙痒等
肝 臓	肝機能異常（AST、ALT、 γ -GTP 等の上昇）

20. 取扱い上の注意

- 20.1 本剤の品質を保つため、できるだけ湿気を避け、直射日光の当たらない涼しい所に保管すること。
- 20.2 開封後は特に湿気を避け、取扱いに注意すること。
- 20.3 本剤は生薬を原料としているので、色調等が異なることがある。

22. 包装

- 500 g [ボトル]
2.5 g $\times$ 300 包 [分包]

* 24. 文献請求先及び問い合わせ先

三和生薬株式会社 お客様相談窓口
〒321-0905 栃木県宇都宮市平出工業団地 6-1
ナビダイヤル：0570-095770 FAX：028-661-2410

26. 製造販売業者等

26.1 製造販売元

 三和生薬株式会社
栃木県宇都宮市平出工業団地 6-1